



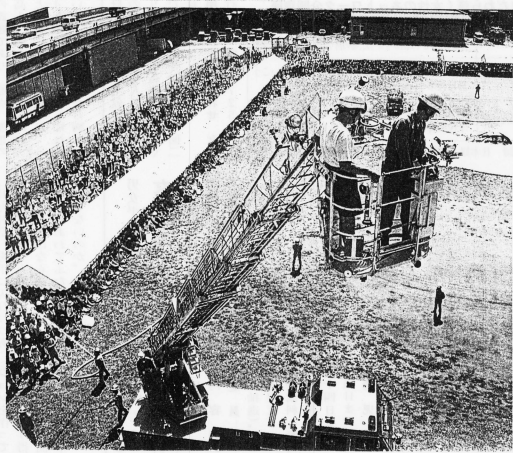
船上から瀬戸大橋をながめながら小瀬市長といっしょに昼食

## 少年少女オーシャンクルーズ 大海原に育つ夢とふれあい

夏休み最後の日曜日、市内の小中学生五百人の夢と期待をのせて、豪華客船「こぼん丸」が横浜港を出港しました。さらめきシンドバットと名付けられた瀬戸内海まで二泊三日のクルージングです。相模湾に出ると、雄大に広がるふるさこの美しさに歓声があがります。青空にさんさんと輝く太陽と、果てしなく広がる紺碧の海。たくさんの仲間と協力し合い、いろいろなプログラムに挑戦しながら、地球が丸いことを自分の目で確かめ、この夏、子供たちは、回り大人になりました。

## 下府中で総合防災訓練 地震だつて怖くない

新しい消防本部に隣接した鴨宮運動広場が九月四日、総合防災訓練が行われ、下府中地区の自治会を中心に、防災関係機関の職員など、二千人を超える人が参加しました。訓練は、震度六の神奈川県西部地震が発生したとするシナリオを被害想定に基づき、地元の人々による避難訓練のほか、仮設救護所設置、炊き出し、応急手当、初期消火など、十三項目に及びました。一年以上がたち、あの大地震の記憶が薄れていまいせんが、「災害は忘れなごうにやってくる」という言葉を思い出し、みなさんも日々の備えを万全に整えておいてください。



中高層大炎には、はしご車が活躍

ページ	主な内容
2	ふれあいシルバークロス運行開始・市長随想
3	市民と市長とのほっと懇談会・まいたうんれぼーと
4	特集「ごみの出し方と分け方」・歴史は時を超えて
6	きらめき情報・けんこうコーナー
8	政治改革関連四法が成立・時の顔



# 市民と市長とのほつと懇談会

### 熱い思いのキャッチボール

市民では、市長の皆さんの生の声を聞きまして市政に反映させたい、市民参加によるまちづくりを進めています。今年も、より多くの市民が参加できるように、昨年を引き継ぎ、市民と市長とのほつと懇談会を開催します。市政について疑問に思っていることや、まちづくりのアイデアなど、いままでも心に抱いていた思いが、市長本人にぶつてみてほしいかたがぜひ、お答えできるものは、市長がその場で回答いたします。

まづづくりの主任は、市民の皆さんで、市が抱えている「きざんで、市が抱えている」を創造していくために、皆さんと「ほつと」なご意見が欠かせません。ぜひ、ご出席ください。

●開催日・会場 別表のとおり  
●開催時間 午後七時から九時  
●問い合わせ 広報広聴課  
☎33-1263

## ← 市民と市長とのほつと懇談会日程表

開催日	対象地域・対象人名	会場	
10月18日(水)	片 浦	榎野公民館	
10月21日(金)	中 央 楠・新玉・万年・尾柄・久野・柿・宇子・二田・山王・早田・深早・大塚・藤一色	市民会館 第7会議室	
10月26日(水)	川東南浦	下府中・国保津 酒場本部 講堂	
11月8日(水)	中 央	10月21日と同じ地域	中央公民館 講堂
11月10日(木)	橋 橋南・橋北	橋中学校 屋内運動場	
11月15日(水)	川東北部	豊川・上府中・下府中・草野	中央公民館 豊川分館
11月17日(木)	富水・桜井	富水・富水・桜井	東宮小学校 屋内運動場

## まいたうん れぽうと

広報レポート  
小澤明美 (39)

### 環境保全関係条例

#### 環境づくりの第1歩

小田原に、好きな風景、ありまか？ 海がり山沿いの小田原、ここくもりの海水面を持ち、面積の約四パーセントは森林です。他の人が持つ「自然」ではない風景、持っている人も多くて、この「豊か」な緑、澄んだ空気、おいしい地下水、この豊かな自然が私たちの暮らしにつながるお宝です。それを守り、小田原の自然環境を子孫に引き継いでゆか、そんな願いを込めて、

### 環境保全関係の条例について

環境保全課の係長さんへ伺った話を中心にレポートします。環境問題については、平成四年度に制定された「環境基本法」に基づき、環境保全関係の条例について、例として今月の「環境づくりの第1歩」に紹介します。

「環境基本法」に基づき、環境保全関係の条例について、例として今月の「環境づくりの第1歩」に紹介します。

環境保全関係の条例について、例として今月の「環境づくりの第1歩」に紹介します。

環境保全関係の条例について、例として今月の「環境づくりの第1歩」に紹介します。

### 健康ウォーク

ふれあい、けんこうウォークです。これが目

### 健康ウォーク

健康ウォークです。これが目

### 健康ウォーク

### 健康ウォーク

健康ウォークです。これが目

### 健康ウォーク

### 健康ウォーク

### 健康ウォーク

### 健康ウォーク

## 脳卒中リハビリ

### 脳卒中リハビリ

脳卒中でリハビリテーションを必要とする方やご家族のご相談に専門医がお答えします。どんなところでも結構です。

## 介護教室を開催

### 介護教室を開催

脳卒中などで介護を必要としている方のご家族に、介護の方法、リハビリなどを学ぶ教室を開催します。

## TVKで放映

### TVKで放映

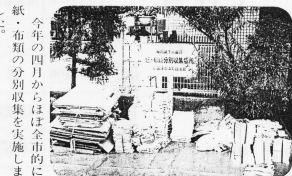
「小田原十五勇士」の公算として「まちづくり市民の宮」のメンバーが夏まつりの企画を、そして自ら参加することに。

# 知ってるつもり!?

## ごみの分け方・出し方



今年四月からは全市的に、紙・布類の分別収集を実施しました。収集開始後から、皆さんの協力で、写真のようなきちんとした分別収集が行われていき、そしてこの分別収集によって、七月までの四か月間に、千四百五十トンあまりの紙や布がリサイクルされました。しかし、これは、当初予想していた量のおよそ六割です。また、よく分別してきませんと仰っているのに、分別集



今年の四月からは全市的に、紙・布類の分別収集を実施しました。

### 千四百トンをリサイクル

「ごみはきちんと分別して、決められた日に決められた場所に出しました。簡単なことのようにですが、実際に各家庭でごみを出すとき、それがどの種類のごみになるのか迷ってしまつてことがあります。そこで、今回は現在の小田原市内の「ごみの分け方・出し方」について特集しました。

の目ではない燃えるごみの日に捨てられているケースも見受けられます。決められた紙・布の日に出してもよければ、ごみの量が減るだけでなく、「資源」として再利用できるのに「もったいない」ですね。

自治会には、集まった紙・布類、キログラムあたり五円の分別費用も入り、地域活動の活性化にも役立ちます。

ぜひこれからも、分別収集にご協力ください。

地球の資源の大切さを将来にむかって子供たちに引き継いでいくために、我々大人たちがやらねばならないことがたくさんあります。その一つが環境問題であり、身近なところではごみ問題です。

私たちの自治会では、紙・布類の分別収集をするのに、うつかり出し忘れのないよう、毎月回収の日を回覧しています。同時に実績を報告し、このことが地区の人の誇りにもなっているように、おかげさまで多くの品物（資源）が集まっています。








緑地区 第3区自治会 西島摩理顕さん



燃えないごみ (3週間に1回)

### ゴミの分け方・出し方

紙・布類 (月1回)	ビン・缶類	燃えないごみ その他 (3週間に1回)	乾電池	燃えるごみ (週3回)
				
新聞紙、段ボール、雑紙(広報紙、黄紙類)、包装紙類、牛乳パック、布類(乾いたもの)	●ビン・缶は中身を空け、水洗いして出す ●ビンのキャップ類は取り外して出す ●割れたビンはセトモノ・ガラス類のボックスに入れる ●割の入っていたのは中身を拭きとってから出す	●スプレー缶は中身を使い切ってからスプレー缶と表示してあるボックスに入れる ●テレビ、自転車などの大型ごみは、ボックスの横にさかんと並べ出す(一度にたくさん並べ出すときは環境事業センターに連絡してください(有料で収集します))	●乾電池は、ボックスの横につるしてある乾電池回収袋に入れる	●生ごみ、花・草・木類、ビール・プラスチック製品、資源としない紙くず、寝具類など

※夜間は騒音の問題もありますので絶対に出さないでください。  
※ゴミの分け方・出し方については、事情により一部の地区で異なる場合もあります

あ!  
こんなところにも  
市内酒匂にある小田原市公設青果市場にも分別収集、ご

市場関係者の理解と協力により、予想以上に早く段ボール  
小田原青果商業協同組合  
環境衛生委員長 田中繁夫さん

郷土文化館歴史探究会  
湯坂路をたずねて  
●期日 10月19日(雨) 中止  
●期日 10月20日(雨) 中止  
●期日 10月21日(雨) 中止  
●期日 10月22日(雨) 中止  
●期日 10月23日(雨) 中止  
●期日 10月24日(雨) 中止  
●期日 10月25日(雨) 中止  
●期日 10月26日(雨) 中止  
●期日 10月27日(雨) 中止  
●期日 10月28日(雨) 中止  
●期日 10月29日(雨) 中止  
●期日 10月30日(雨) 中止  
●期日 10月31日(雨) 中止

小田原城特別展  
漁師たちの晴れ着「万祝」展  
●期日 10月8日(日) 11月6日(日)  
●会場 小田原城天守閣  
●入場時間 午前9時～午後4時30分(閉場午後5時)  
●問い合わせ 13473  
●開館時間 9時～17時

市民ロビーコンサート  
弦楽八重奏の調べ  
●期日 10月19日(雨) 中止  
●期日 10月20日(雨) 中止  
●期日 10月21日(雨) 中止  
●期日 10月22日(雨) 中止  
●期日 10月23日(雨) 中止  
●期日 10月24日(雨) 中止  
●期日 10月25日(雨) 中止  
●期日 10月26日(雨) 中止  
●期日 10月27日(雨) 中止  
●期日 10月28日(雨) 中止  
●期日 10月29日(雨) 中止  
●期日 10月30日(雨) 中止  
●期日 10月31日(雨) 中止

市民ロビーコンサート  
弦楽八重奏の調べ  
●期日 10月19日(雨) 中止  
●期日 10月20日(雨) 中止  
●期日 10月21日(雨) 中止  
●期日 10月22日(雨) 中止  
●期日 10月23日(雨) 中止  
●期日 10月24日(雨) 中止  
●期日 10月25日(雨) 中止  
●期日 10月26日(雨) 中止  
●期日 10月27日(雨) 中止  
●期日 10月28日(雨) 中止  
●期日 10月29日(雨) 中止  
●期日 10月30日(雨) 中止  
●期日 10月31日(雨) 中止

# 歴史は時を超えて

## 城下町小田原 ⑥

郷土史家 三津木 國輝

### 宿場町の にぎわい

小田原北条氏が五代九十九年(わたつり)つくりあげた小田原の町は、松原神の前町を中心として東西に延びていて、「北条記」に「東は一色より坂に平るまで、其間三里に柳を張り、流尻敷を忍びしる」とあるように、非常ににぎわいをあやう

と云うのが、天正十七年(一五八九)年、十月二十四日、豊臣秀吉から北条討伐の宣戦布告が発せられ、翌年四月月初旬、小田原は豊臣軍水陸十五万の大軍に包囲された。しかし、百日に及ぶ攻防の末、七月五日、現在の八月四日、北条氏が投降を決定し、同日、秀吉軍に城が明け渡されるまで、小田原の城下町は城下をめぐらす結構はつつしつか



りを守られていた。小田原北条氏による関東の覇府小田原が開城になると、徳川家康が関東入部して江戸を本拠とした。小田原城は徳川家康時代の大名である大久保七郎衛門督が、道州一原城・静岡大岡出陣区から移り入れ城した。

小田原北条氏によって関東の覇府としていた小田原の城下町も、城の主をさくし、北条氏の家臣がそれぞれ小田原を退去せられ、また多くの商上業者も東海の江戸へ入り、ついでに小田原を去り、江戸に移っていった。そのため、小田原の城下町は時寂れて

しまい、飢饉にひんする人も多かった。このように一時は敗北を多かつた小田原の城下町も、慶長六年(一六〇一年)宿場の制度が設けられ、江戸と京の道を結ぶ東海街道には十三の宿場が設けられた。小田原原は江戸から第九目の宿場となり、1行舟は千里、約八十里、ロケットは、江戸日本橋を平立すれば、江戸には小田原原に到着する。天下の險といわれた山越えの難所、箱根八の山越えをみなへ、また、箱根八の山越えあとの宿場として多くの旅立ちをわらびにされた。

さらには寛文二年(一六六二年)に寛文二年(一六六二年)に武家法度の改正で参勤交代が制度化。在府・在国一年交代が制度化。在府・在国毎年各々が交代し、宿場として大に栄えた。地質調査家村野氏の調査研究によると、東海道第一の難所、箱根八の山越えの前

紙・布類分別収集結果(平成6年4月～7月)

自治体名	新聞紙	雑紙	段ボール	牛乳パック	缶	合
新	21,550kg	19,224kg	12,690kg	271kg	1,015kg	5,250kg
緑	14,480	10,966	2,552	254	758	2,650
玉	13,800	14,799	5,617	197	1,267	2,761
幸	15,500	13,736	4,030	147	1,102	2,936
十	12,435	9,261	2,210	265	1,259	2,580
足	22,455	25,422	4,790	353	2,080	3,899
芦	24,205	21,716	2,992	466	2,381	5,051
二	12,960	13,552	2,410	188	1,230	3,010
富	35,775	37,816	4,832	499	3,393	8,509
高	46,247	49,152	6,248	573	5,125	11,497
久	30,756	33,130	4,248	628	3,499	8,299
大	19,490	18,657	3,375	334	2,095	5,351
山	9,235	10,868	3,820	222	1,425	3,540
下	11,938	12,370	1,392	126	1,609	3,643
府	58,350	59,544	6,950	854	5,759	13,913
下	45,592	41,810	5,615	661	4,392	10,951
二	19,490	18,657	4,940	603	3,940	9,633
下	11,769	12,162	1,436	183	1,481	3,843
上	10,810	11,559	4,510	196	1,370	3,906
国	38,286	43,102	5,935	467	4,239	9,931
道	71,177	79,113	9,621	1,191	6,365	16,150
庁	13,209	8,862	2,065	147	2,530	5,793
通	5,731	5,810	2,534	83	629	1,983
計	19,160	23,417	3,355	337	2,468	6,357
平均	22,316	23,348	2,002	465	2,929	7,760
率	627,645	644,215	110,109	9,800	64,301	1,445,070
	43.1%	44.2%	7.6%	0.7%	4.4%	

北方の領土かえる日 平和の日  
小田原北条氏によって関東の覇府としていた小田原の城下町も、城の主をさくし、北条氏の家臣がそれぞれ小田原を退去せられ、また多くの商上業者も東海の江戸へ入り、ついでに小田原を去り、江戸に移っていった。そのため、小田原の城下町は時寂れて

小田原青果果商協会の協同組合長 瀬戸清孝さん

### 一夜城まつり

石垣山へお越しくください

- 10月16日(日)午前10時～午後3時30分
- 10月17日(月)午後5時～

■場所 石垣山 夜城歴史公園

■主な内容 野点 民衆歌謡 盆踊り

■交通 ○小田原から無料送迎バスを運行 早川駅発 午前9時から20分間隔 午後11時 夜城歴史公園発 午後5時終了

○バス停 入田駅から徒歩40分

○問い合わせ 観光課 ☎0542-91521 小田原市観光協会 ☎0542-91002

### 健康づくり講演会 「我が身の健康が第一」

講師 毒島天次さん

- 会場 保健センター
- 定員 200人(応募者多数場合は抽選)
- 締切 10月1日(日)当日の朝

ふれあい・けんご(コフエ)スライムのなかで、「我が身の健康が第一」と題して健康づくり講演会を開催します。

●講師 毒島天次さん(俳優 毒島元太郎)

●申し込み・問い合わせ先 2・10・16 保健センター ☎213216 小田原市酒田1-1-1 ☎8202

# き・ら・め・き

# 情報

## CITY INFORMATION

人口 196,703人 世帯数 66,329世帯 (8月1日現在)

### 秋の全国交通安全運動

近年、一輪車の事故や高齢者の歩行中の事故が多発し、多くの死者を出しています。多くのため、この秋は高齢者や交通事故から守ることを、シートベルトやヘルメットの着用を徹底して、歩行者や自転車利用者の交通安全意識を高めます。

### スポーツ

正しく着する習慣をつける。問い合わせ市民生活課 ☎18537

### 募集

下水道事業受益者負担金の納付

下水道事業受益者負担金の第2期への納期限は9月30日です。忘れずに納めてください。問い合わせ下水道総務課 ☎1616

### 病院臨時職員募集

職員は看護婦、准看護婦、薬剤師、理学療法士、給食調理員、事務員など約30名。午前午後5時30分～午後5時。問い合わせ総務課 ☎110

9月25日(日) 28日(水) 小田原競輪開催 周辺道路で交通規制が行われます。問い合わせ 小田原競輪場 ☎110

秋の交通安全運動 近年、一輪車の事故や高齢者の歩行中の事故が多発し、多くの死者を出しています。多くのため、この秋は高齢者や交通事故から守ることを、シートベルトやヘルメットの着用を徹底して、歩行者や自転車利用者の交通安全意識を高めます。

市では、地震災害発生時の被害状況により各地に、仮設避難所を設置します。問い合わせ 市民生活課 ☎18537



10月8日(土)午前9時競輪開催開始 城山陸上競技場 参加費無料 小田原市内の小中学生、4、5、6年生、競技種目 男子 100m、1000m、走幅跳、走高跳、走り高、(女子) 100m、800m、走幅跳、走高跳、ボール球、400mボール、チーム編成は同一学年ごとに、参加回数限り 2人2種以内(1種以上)制限なし

小田原市陸上競技協会主催第7回小田原市小学生記録賽 10月8日(土)午前9時競輪開催開始 城山陸上競技場 参加費無料 小田原市内の小中学生、4、5、6年生、競技種目 男子 100m、1000m、走幅跳、走高跳、走り高、(女子) 100m、800m、走幅跳、走高跳、ボール球、400mボール、チーム編成は同一学年ごとに、参加回数限り 2人2種以内(1種以上)制限なし

動物フェスティバル 神奈川 94におさわら 犬の散歩、動物の身近にいること、動物の愛護を正しくし、適切な管理をして、9月23日(日)秋のふれあい田城内ポツツレクレーン、5区広場内 長寿会の表彰、犬の絵画動物園、写真展、特別少年動物フェスティバル、フットボール、2日連続のしつけ訓練、会場付近は混雑しますので、車

女性のための自転車教室 10月22日(木)・23日(金) 午前10時～午後4時 会場は市立東区輪船駐車場、日かサイルズ2911代小田原市健康センター。問い合わせ市民生活課 ☎18537

「市民ハッキング」 10月23日(木)中止 小田原駅東口南8階会場、午後4時開演、見学者100名以上、約80名参加、見学者100名以上、約80名参加、見学者100名以上、約80名参加

講座講演 第9回神奈川県県民親大会 10月8日(土)午後5時30分、午後7時、小田原市尊徳記念館、問い合わせ市民生活課 ☎18537

消費生活者の権利保護 養子、問題を探るための消費生活者 行政広報課、問い合わせ市民生活課 ☎18537

映画鑑賞会 題名『陽のたたる場所』 10月16日(日)午後10時開演、問い合わせ市民生活課 ☎18537

市民プラザ 小田原市ファミリーセンター 9月18日(土)午後5時～午後7時、問い合わせ市民生活課 ☎18537

講演会 第44回小田原市児童生徒科発 9月29日(土)午後5時、市民生活課、問い合わせ市民生活課 ☎18537

映画鑑賞会 題名『陽のたたる場所』 10月16日(日)午後10時開演、問い合わせ市民生活課 ☎18537

市民プラザ 小田原市ファミリーセンター 9月18日(土)午後5時～午後7時、問い合わせ市民生活課 ☎18537

講演会 第44回小田原市児童生徒科発 9月29日(土)午後5時、市民生活課、問い合わせ市民生活課 ☎18537

講演会 第44回小田原市児童生徒科発 9月29日(土)午後5時、市民生活課、問い合わせ市民生活課 ☎18537

講演会 第44回小田原市児童生徒科発 9月29日(土)午後5時、市民生活課、問い合わせ市民生活課 ☎18537

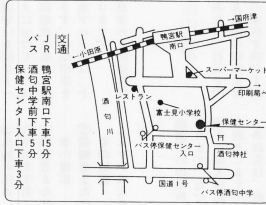
市民プラザ 小田原市ファミリーセンター 9月18日(土)午後5時～午後7時、問い合わせ市民生活課 ☎18537

講演会 第44回小田原市児童生徒科発 9月29日(土)午後5時、市民生活課、問い合わせ市民生活課 ☎18537

講演会 第44回小田原市児童生徒科発 9月29日(土)午後5時、市民生活課、問い合わせ市民生活課 ☎18537

講演会 第44回小田原市児童生徒科発 9月29日(土)午後5時、市民生活課、問い合わせ市民生活課 ☎18537

# けんこくこけい



○問い合わせ・申し込みは保健センターへ  
☎470820

## ○成人病予防 570・576

40歳以上の方に、基本健康診断、乳がん検診、子宮がん検診、大腸がん検診、健康診断をお任せください。今月11日、11月、12月生れの方にお届けします。9月15日までのには、すでに受診済みは、従来の基本健康診断をお任せください。受付は、保健センターまでご連絡ください。

## がん検診

●基本健康診断・がん検診  
○対象 40歳以上、職場などで健康診断のない人  
○場所 保健センター  
○持ち参るもの 健康保険、保険証、医療費お返し高帳  
○受診料 基本健康診断無料  
○精密検査を行った場合は1000円/肺がん検診1000円/喀血検査を行った場合1000円/大腸がん検診1000円/子宮がん検診1000円/乳がん検診1000円/無子宮体部がん検診1000円  
○申し込みは、保健センターまで電話でお申し込みください。

## ○予防接種

●高がんと乳がん 保健センターまで電話申し込み  
○対象 40歳以上、30歳以上の女性  
○場所 保健センター  
○時間 午前8時～10時30分  
○受診料 5000円  
●高がんと乳がん 保健センターまで電話申し込み  
○対象 40歳以上、30歳以上の女性  
○場所 保健センター  
○時間 午前8時～10時30分  
○受診料 5000円

## ○献血

●献血  
○献血は、みなさんの善行によって支えられています。  
○日程 9月22日(水)小田原駅東口  
9月30日(木)小田原駅東口  
10月10日(日)正午 午後1時～10時

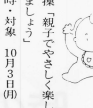
## ○保健所だより

●保健所だより  
○小田原保健所 ☎51155  
●保健センター  
○「こころ」が抱えているを一緒に開催します。全町医療費減額コース

## ○お出かけの前に体温を測って

## ○おたわら

●おたわら  
○おたわら  
○おたわら



## ○結核健康診断 571

●結核健康診断  
○対象 16歳以上の方  
○検査 16歳以上の方

## ○45歳以上の尿検査

●45歳以上の尿検査  
○対象 45歳以上の女性  
○場所 保健センター

## ○乳幼児健診 10月

●乳幼児健診  
○対象 1歳6か月児、3歳児は歯検診まで  
○時間 午前10時～11時、午後1時30分～3時

## ○休日診療カレンダー

日	診療科目
9月15日	内科・小児科・耳鼻咽喉科
9月16日	内科・小児科・眼科
9月23日	内科・小児科・耳鼻咽喉科
9月24日	内科・小児科・耳鼻咽喉科・眼科
9月30日	内科・小児科・眼科
10月1日	内科・小児科・耳鼻咽喉科・眼科
10月7日	内科・小児科・眼科
10月8日	内科・小児科・耳鼻咽喉科・眼科
10月14日	内科・小児科・耳鼻咽喉科
10月15日	内科・小児科・眼科
10月21日	内科・小児科・耳鼻咽喉科
10月22日	内科・小児科・眼科

# 政治改革関連四法が成立 政治の腐敗を防ぐ

## 政治改革関連四法

- ①公職選挙法の改正
- ②政治資金規正法の改正
- ③政党助成金の制定
- ④衆議院議員選挙区画定審議会設置法の制定

今三月の国会で「政治改革関連四法」が成立した。この四法の改正は、大正十四年、男子普通選挙制度が採用されて以来の大きなもので、これにより、暮らしに密着に関わりあがる選

け出し、個人のほか、一定の条件を満たす政党もできる。この場合、比例代表と重複し候補も認められる。比例代表選挙は、政党が候補者名簿を掲げ出す。投票は、小選挙区では候補者名簿、比例代表では政党名簿、比例代表では政党名簿それぞれの記号をつける欄に○の記号をつける。記号式二重票制となる。

選挙区制の罰則を強化し、選挙犯罪に対する罰金額を引き上げられた。また、連立の範囲が拡大され、次のとおりとなる。

- ① 出納主任者
- ② 地味主任者
- ③ 候補者
- ④ 候補者または立候補予定者
- ⑤ 秘書
- ⑥ 秘書または立候補予定者

政治選挙の得票数に応じた配分を前年の収入総額の三分の二を上限とします。各政党は、政党交付金の使用の内訳などを記載した報告書を自治大臣に提出し、この報告書は公開されます。

## 政治資金規正法の改正

団体の寄付を除く企業や労働組合などの団体は、政治資金が指定する一つの政治資金団体へ、政治資金が指定する一つの資金管理団体に対するものを除き、政治活動に関する寄附が一切禁止される。また、同一の資金管理団体に対する寄附は、年間五十万円を限度とします。

政治資金の透明性を高める。政治団体の寄附の公開基準が、年間五十万円超になります。また、政治資金パーティー券の大口購入者の公開基準が、一回のパーティーあたり二十万円超になります。

審議会が総務府に設置され、衆議院議員小選挙区区割り案を作成し、今年八月十二日に勧告しました。

また、選挙区画定は、各選挙区間の人口格差が二対一を超えないようにすることに基本となります。

## 献血にご協力を

輸血に使われる血液製剤は、現在、献血によって確保されています。しかし、医療の進歩に伴って需要が増えている。血液製剤は生命維持に不可欠な血液の成分を抽出・精製した血液製剤で、血友病や大量出血、重症の感染症に使われる。一部を外国に依存している。医療用血液を自国内で確保するため、献血に一層のご協力をお願いいたします。

献血された方には、血液の生化学検査や血球計数検査の結果をお知らせします。統計で記録すれば、健康のパロニータにもなります。

平成5年度の本市の実績

献血申込者	6,505人
献血者	4,178人
献血量	1,619人
成分	61人
合計	5,858人

## 時の顔

絵、近藤信一

今やイタリアで最も有名な日本人となったカズ。「大口をたたかす礼儀正しいサムライ」、と、現地でも好まれて、大活躍してくれていることでしょう。



三浦知良 (サッカー選手)

## 1994夏 それぞれの国際交流の輪を広げて

今年も、ときめき国際学校に参加した市内の中高校生50人が、オーストラリアのマニー市を8月15日から27日まで訪問しました。7月に小田原を訪れたマニーの子供たちと再会し、自然体験プログラムなどをこなしました。



昨日できた小田原アベニューに3本目の桜を植樹



チュウビスタのホストファミリーと記念撮影

また、8月3日から28日までは、市内の青少年4人が、姉妹都市アメリカ合衆国チュラビスタ市にホームステイしました。市長表敬訪問や市のボランティア事業への参加などを通して、国際的視野の拡大と相互理解を深めました。

●問い合わせ先 文化交流課 ☎1707

献血には、全血献血と成分献血があります。成分献血は、血液成分を抽出して、赤血球が再び体内に戻されるので、体の負担は軽減されています。成分献血は世界各所で広く行われており、安全性も十分に確保されています。

●問い合わせ先 市民健康課 ☎0820